

気候情報

2014年9月の日本の天候

- 東日本で5年ぶり、西日本で8年ぶりの低温
- 沖縄・奄美は記録的高温
- 全国的に、少雨・多照の地方が多かった
- 北海道で記録的大雨

9月の天気概況

北日本から西日本にかけては、大陸からの冷たい空気を伴った移動性高気圧に覆われ、また秋雨前線の活動が弱かった。このため、東日本から西日本にかけては気温が低く、9月としては、東日本は2009年以来5年ぶり、西日本では2006年以来8年ぶりの低温となった。一方、勢力の強い太平洋高気圧に覆われた沖縄・奄美では、月平均気温が平年差+1.3℃と著しい高温となり、9月としては最も高い記録となった(統計開始1946年)。また、秋雨前線に近かった九州と四国を除き、多くの地方で日照時間が多く、降水量が少なかった。特に、北・東日本と沖縄・奄美の日照時間はかなり多く、北日本日本海側の月間日照時間は平年比122%と、9月として最も多い記録となった(統計開始1946年)。

上旬：本州南岸に前線が停滞し、東・西日本太平洋側では曇りや雨の日が多かったが、東日本日本海側と北日本では、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、沖縄地方では熱帯低気圧の影響を受けた6日を除き、太平洋高気圧に覆われ、晴れて暑い日が続いた。熱帯低気圧は、7日には台風第14号に発達し、東・西日本太平洋側はその影響で雨となった。また10日には、上空へ寒気が入ったため、強い夕立に見舞われた所があった。旬平均気温は、東・西日本で低かった。沖縄・奄美では高かった。旬降水量は、東・西日本太平洋側で多かった。また、北日本太平洋側と東日本日本海側では少なかった。旬間日照時間は、北日本、東日本日本海側および沖縄・奄美で多かった。また、東・西日本太平洋側では少なかった。

中旬：沖縄地方では暑い日が続き、旬平均気温は平年差+1.5℃と最も高い記録(統計開始1961年)となった。11日から12日にかけては、寒気を伴った低気圧の影響で、北海道では記録的な大雨となり、大雨特別警報が発表された地方があった。中旬後半は、東日本を中心に晴れた所が多かった。旬平均気温は、北・東・西日本で低かった。一方、沖縄・奄美ではかなり高かった。旬降水量は、東日本ではかなり少なく、西日本と沖縄・奄美は少なかった。旬間日照時間は、北日本太平洋側と東日本および沖縄・奄美で多かった。

下旬：西日本から北日本では、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、東日本太平洋側の旬間日照時間は平年比192%と最も多い記録となった(統計開始1961年)。また、晴れが多かった沖縄・奄美では、旬平均気温は平年差+1.6℃と最も高い記録となった

(統計開始1961年)。21日から23日にかけては、前線と台風第16号の影響により、九州では曇りや雨、沖縄・奄美でもにわか雨となった。24日から25日にかけては、台風第16号から変わった低気圧が日本海を東進し、沖縄・奄美を除いて全国的に雨となった。旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北・西日本で高かった。旬降水量は、北日本と東日本太平洋側および西日本で少なかった。旬間日照時間は、北・東日本でかなり多く、西日本と沖縄・奄美で多かった。

9月の気候統計

月平均気温：東・西日本で低く、北日本は平年並だった。沖縄・奄美ではかなり高かった。

月降水量：北日本太平洋側でかなり少なく、北・東日本日本海側、東日本太平洋側、西日本および沖縄・奄美で少なかった。

月間日照時間：北日本、東日本および沖縄・奄美でかなり多かった。西日本は平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

9月の記録(1位更新のみ)

・月平均気温高い方から(℃)

与那国島 29.0 石垣島 29.9 宮古島 28.9など4地点

・月降水量少ない方から(mm)

松江 51.0 石垣島 29.5

・月間日照時間多い方から(h)

新庄 182.2 盛岡 195.2 仙台 192.8 など11地点

2014年9月の平年差(比)図

